

会議録

件 名	令和7年度 第2回丹波市立文化ホール事業推進会議
日 時	令和7年9月19日（金） 19:30 ～ 21:00
場 所	春日文化ホール 会議室
出席者	[委 員] 角 悟会長、吉良哲也副会長、荻野義雄委員、田邊利典委員、 廣瀬ゆかり委員、梅谷浩子委員、中出靖大委員 （※欠席：柴原委員、吉見委員） [オブザーバー] 一般社団法人ネクストゼロ 代表理事 長井 誠 [事務局] 文化・スポーツ課長 堂本 祥子 文化・スポーツ課芸術文化係 係長 見田 晋介 同 主事 瀬頭 史勇
【会議要録】 1 開 会 事務局 ・会議の成立 （事務局） 委員9名中7名の出席により、会議成立（2名会議途中より参加） （欠席委員については、事前連絡あり） 2 あいさつ 会長 3 報告事項 以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— （事務局） 一般傍聴者ならびに報道機関の申込みなし —会議の公開等の確認— （会長） 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものはなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。 【委員からの異論なし】 ①前回会議録の確認 （事務局） —資料により説明— （会長） 会議録について、一字一句間違いの無いように作成いただいておりますが、もう少し簡単にまとめて頂いてもいいのではないかと思います。趣旨に反するような変更をされては困るが、もう少し要約した内容で配布したほうがよいのではないかと思います。 （事務局） 会議録と言う形のものであるなら、何が決まったか、こういう意見があったというような記載があれば会議録として成立しているのではないかと思います。議会の議事録ということになると、発	

言者の内容をそのまま記載することになるが、会議の記録となると決定内容や要約したものを配布する程度でよいのではないかと思います。

(委員)

記録されたものを文字起こししているのではないかと思います、要約のほうが手間になるのではないかと。

(事務局)

要約する上でも一度は文字起こしをする作業が必要となる。一旦は、文字起こしをした上で、要約したものの方が分かりやすいということであれば、それをお返しさせていただくようにしたいと思う。

(会長)

一度、試行錯誤していただければと思う。

(事務局)

調整させていただく。

②令和7年度事業進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

前回会議からの変更点（赤字）を中心に説明。

(会長)

オペレーター育成講座を受講された柏原高校ギター部の子たちが、ゼロフォーへ加入されているという説明であったが、今は在校生となっているが卒業されるとどうなるのか。

(事務局)

卒業されて、丹波市に残っていただけるのであれば、そのままゼロフォーに加入したまま活動もできると思う。ただし、外に出て大学に行かれたりとか、就職されたりするとなかなか継続した活動は難しいのではないかと感じる。この講座で経験されたことを外に出て、また別の形で経験され、将来的に丹波市に戻ってきてゼロフォーの活動をするというのが希望なのではないかと思う。

③ホール運営業務委託に関する進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

(文化ホール運営事業者)

1年が経過し、2年目となっている。

人材育成が肝いりの事業となっている。高校生を対象に人材育成を行っている現状にあるが、会長がおっしゃられたように卒業したらどうなるのか、という部分は大きなところではあるが、何より大事なことはそういった子たちに色々な経験をさせてあげることが始まりなのではないかと考えている。

昨年から取り組みを進めているが、人との触れ合いや繋がりができてきて、今では2年生が1年生を教えている、引き継いでいくというような環境もできている。意識的な変化なのではないかと思う。

育成講座でも高校生が5人参加してくれていて、今までにはなかった反応となっている。昨年から我々が現場に出向いて、交流を持つことで、子どもたちも振り返ってくれているのではないかと感じている。高校生と話をすることで、お互いに良い刺激になっているように感じる。

活躍の場は、ホール事業の中で貸館事業や自主事業やアマチュアアーティスト育成支援事業というところで裏方として活躍してもらうことがメインとなるが、「丹波市ならでは」のホール運営という大きなテーマの中で、子どもたちがこちら側に入り込んでくれることを切に願っている。

一番活躍できるバンドフェスタの時には、バンドフェスタ用のスタッフとして戻ってきてくれたり、司会者として帰ってきてくれたり、バンドフェスタのファンになってくれている卒業生もいるため、そういった子たちを大事にして広めていきたいと思っている。

技術支援という形で、山南文化協会がやまなみホールで文化祭を開催されるときや、青垣文化協会が青垣住民センターで文化発表会を開催されるときなど、技術的な支援をゼロフォーとともに協力している。また、地域の自治会の祭りでも舞台の PA を行い、地域への恩返しができるようにと考えて取り組んでいる。

4 協議事項

①令和 8 年度事業計画（案）

（事務局）

—資料により説明—

（委員）

昔のビッグアーティストとかは高いのか。気になるが高いのかなと。中町はビッグネームと呼ばれている印象にあるので、その人以外の珍しい人が来たらよいと思う。

（委員）

大型は少し意見を言いにくいですが、自分なりの感覚として、この人は旬ではないなといったものはあるが、あてにならない部分ではあるため分からない。

大黒摩季が来てくれたりするのか。

（文化ホール運営事業者）

昨年、篠山に来られていた。

（委員）

金額の記載もない

（文化ホール運営事業者）

600 万から 700 万くらいで、1 回公演ではないか。記載の金額も純粋な出演料だけになると思う。実際は交通費や宿泊費などが入ってくるため、プラス 50 万から 60 万は必要となる。

こういったアーティストは、営業としてプロデュースしている部分になるため、いま旬のひとはいくらお金があってもなかなか来ることはない。

（委員）

さきほどおっしゃられていた押尾コータローさんは、毎年公演をされているのか。

（文化ホール運営事業者）

毎年されている。前は 400 万程度で自主事業を行った。

（委員）

ミドル世代となると、同世代になるのですごく興味がある。演歌は見たので、ミドル世代の方の裏方が見られたら嬉しいと思う。

（文化ホール運営事業者）

最近はカラオケになるので、セット的には少し寂しい感じになる。やるならバンドが入って、行うようなステージを見せてあげたいと思う。ホールの客席も入れ替えることになるため、リニューアル記念というようなことも考えられるかなと思う。

（委員）

リニューアル記念ということであれば、大黒摩季に来てほしいと思う。

（会長）

大型公演だけでなく、ファミリー公演のほうでも意見があれば。事務局の説明では、ケロポンズという話が出ているが。

（文化ホール運営事業者）

ケロポンズの集客にはびっくりした。芸歴が長いので、3 世代のファンがいる。遠方からの

客さんも多く、完売になったことからわかるとおり根強い人気となっている。

②ホール事業に関する意見及び助言について（情報共有/意見交換）

（事務局）

—資料により説明—

（会長）

7月いっぱいまで工事で、8月からは使用可能という認識でよいか。

（事務局）

工期が遅れなければ、6月末にはホールの方は綺麗になっている。7月のキュービクルの交換を経て、7月末には無事に終了しているというようなスケジュールで動いていただいている。

5 その他

①次回開催予定

（事務局）

次回の会議では、先ほど協議いただいた大型公演、ファミリー公演について、事務局とネクストゼロとで協議を図り、ご報告する形で進めていく予定としている。

（委員）

日程調整等、大変ではないかと感じているため、次回の日程を決めて会議を開催すればよいのではないかと思います。

（事務局）

承知しました。

6 閉 会 副会長